



2008 FXSTB

トライジャ

TEL072-970-3110
http://trijya.com

フレームラインを活かした スタイリッシュボバー。

TRIJYA

Check!
カスタムの
美学



ノーマルフレームを モディファイ。

フレームはディメンションを変更せずに、メインチューブやシート下、スイングアームに至るまで全体的にモルディングを施すことでなめらかなフォルムを生み出している

Owner
青柳幸治さん

初期のRSDの雰囲気を好むオーナー。マシンネームは金属加工職人であるオーナーの職業が由来



フリスコスタイルをベースに、オーナーが好むRSDのパーツを散りばめ現代的なスタイリングに仕上げられたFXS TB。フレームのディメンションは変更せずにスムージングによって滑らかなラインを生み出し、無駄のないフォルムの美しさに拍車をかけている。また、タンク裏まで統一されたラップペイントや車体のラインに合わせたマフラーなどによって、華美なギミックに走ることなく統一感のあるデザ

インにまとめられた。往年のフリスコをトレースするのではなく、前後17インチホイールにハイトの高いタイヤを採用して、足元にボリューム感のあるボバーのようなテイストをミックスさせ、独自のスパイスとした点にも注目したい。

ノーマルフレームによる極めてシンプルなシルエットだが、細部のディテールを作り込むことでカスタムとしての完成度を高めた好例と言えるスタイルだ。



1: ハンドル、コントロールはRSDで統一 2: カービングが施されるシートは自社工房にてワンオフ製作。中央にはマシンネームの“INGOT”の文字とオリジナルのロゴが描かれる 3: ホイールは前後17インチのRSD。フェンダー裏には補強が加えられるためタンデムも可能だ



2009 FXDL

トライジャ

TEL.072-970-3110

http://trijya.com

巧みなパーツチョイスで ハイテッククルーザーに。

TRIJYA

Check!
カスタムの
美学



スピードクルーザーは ミッドステップが必須。

PMのオープンプライマリーはフォワードコントロールのラインアップしかないため、ミッドコントロールと、飛び石を防止するカバーも近いデザインでワンオフ製作している



ツートーンのラップペイントで塗り分けられたエレガントなスピードクルーザー。RSDとアレンネスのパーツを中心に採用し、ハイテックな雰囲気を出している。トータルバランスを見ながらパーツ構成は練り上げられ、必要に応じてハンドメイドの加工を施して装着される。例えばカウルはアレンネスだが、フロントフォークとトリプルツリーに隙間なくハマるように成形し直し、幅も取り付け角も変更。

タンクとシートとの間に隙間があかないようなシートのデザインや、純正を大胆にカットして角度を変えて取り付けたりリアフェンダーなどよく見るパーツであっても、装着時のシルエットを考慮した作りになっていることがわかる。また、プラグコードを省略するプラグオンコイルの採用など、細部まで徹頭徹尾ビルダーの美意識が注ぎ込まれたハイエンドなスピードクルーザーに仕上げられているのだ。



1: ネスカウルをフォークにぴったりと沿うように成形し直し、カウルの内側にもペイントが施される 2: ホイールは前後RSD 3: リアのウインカーはサスペンションの上部に埋め込まれる 4: スポーティなスタイルを演出するスピードマーチャントのスキッドプレート

